

### 令和六年節分祭 豆まき神事 横綱照ノ富士も参列予定

令和六年二月三日(土) 恒例の節分祭・豆まき神事を計画。コロナ禍の中、開催できないうちが続き、四年ぶりの開催となる。元横綱旭富士・現伊勢ヶ濱親方率いる伊勢ヶ濱力士達による迫力の豆まきが執り行われる。

節分祭には現在一人横綱である横綱照ノ富士も参加予定。横綱になってから初めての参列となる。また、熱海出身の熱海富士閣(前頭八枚目在籍)は令和五年夏場所では初日から勝ち星を重ね、千秋楽の優勝決定戦で大関貴景勝とのぎを削ったが、惜しくも初優勝はならず。十一勝四敗と活躍し、初の敢闘賞を受賞。ほか宝富士閣・翠富士閣・照強・錦富士が参列予定。

士が参列予定。

毎年、時き手は二百名近く、参加者は数千人にも及び大変な賑いである。以前までは当分祠の篤志家や崇敬者による協賛により、全ての福豆に景品くじが用意されていた。

今後の豆まきでは、抽選制として当たった人のみ景品が用意される。三十年以上続く伝統ある行事でもあるので、コロナ禍、社会生活の変化にあわせ、新しいやり方を模索し、長く続けられる豆まき神事を再考されている。参加者は今まで通り自由に参加し福豆が授与される。時き手は事前に申し込みが必要。

### 歌舞伎踊りの始祖 出雲阿国 踊りの祭典 いずもだんだん祭 (島根県) 立ち上げ

日本の伝統芸能 歌舞伎の開祖とも称される「出雲阿国(いずものおくに)」。鍛冶屋の娘として生まれた阿国は出雲大社の巫女となり、そのあと、全国で巡業できるほどの芝居一座に成長し、のちに「歌舞伎踊り」の祖として歴史に名を残す。

令和五年十月二十九日、出雲阿国伝説にちなんで、出雲の地で新しい踊りの祭典「いずもだんだん祭」が開催。出雲大社相模分祠青年会より結成されたよさこい連「teamIZUMO」も神奈川県より実行委員として企画・参加し、北海道から九州まで全国のよさこい友好団体約四〇〇名と共に出雲大社(島根)境内にて奉納。また、門前町の神門通りで、艶やかな踊りを披露。



神門通り

渡して事前に行われ、そののち盛大な豆まき行事を執り行う予定。時き手の募集は、一月より公式サイトや案内状を通じて行う予定。

※令和二年豆まき節分祭の写真。写真中央が大関時代の照ノ富士閣。手前が照強閣。



出雲大社と相模は縁が深く、神話の時代、出雲國造家の祖先である第十三代出雲國造 護國命は野見宿禰と称され、相模の始祖として今も崇敬を集める。

### 令和六年 梅まつり

◇二月四日〜二月末頃迄 秦野最大級の梅の樹林帯の中にある境内は、樹齢百年を超える梅の古木で囲まれます。春の息吹を感じ、梅花を眺めながらお過ごし下さい。期間中は境内で甘酒頒布。巫女が手作りです。そのほか紅梅提灯・吊るし雛やライトアップも実施。出雲大社相模分祠写真展も同時開催。



### 南はだの村 さくらまつり

令和六年三月二十三日〜四月十四日の期間、境内において桜まつりを開催。限定御朱印・桜のライトアップや出店で賑わう。近くを通る秦野桜みちには約六・二kmにわたる県内で一番長い桜並木道とされ、たくさんのお花見客で賑わう。車から降りて当分祠の桜まつりに足を運んで下さい。



### 出雲大社相模分祠 桜の愛称募集結果

令和五年春に当分祠境内中央のソメイヨシノの愛称募集したところ、全国から一四八件の応募があり、厳選なる審査の結果、左記に決定。

**良縁桜**

りりょうえんさくら

横須賀市浜口様・秦野市立石様ら複数の方から良縁桜の応募がありました。御神徳でもある「縁」に関する愛称の応募が最も多かったです。桜の町とも称される秦野を象徴するような立派なソメイヨシノとして、参拝者の心を和ませます。一生懸命考えて下さった皆様にご感謝申し上げます。

### シバヤギのモモ

令和三年二月より、当分祠の除草作業を担うシバヤギのモモ。令和六年正月に三歳を迎えるが角も凛々しく立派な体つきになってきた。雑草を食べる境内をきれいにしてくれるだけでなく、癒しのアイドルとして人気である。普段は境内竹林横で休憩している。早朝など境内をのんびり散歩していることも。おなかを壊すのでエサやりは禁止だが記念写真は歓迎。近づきすぎて頭突きをされないように要注意。



### 干支彫刻奉納

境内の鳥居の下に、毎年干支の真新しい石の彫刻が奉納される。境内東側には干支の彫刻が設置されているが、よく数えてみると十二支に足りないことに気づく。この彫刻は石を素材とした彫刻を制作している西巻一彦さんが手掛けた作品。毎年その年の干支をテーマに彫刻しお正月にお披露目するため、十二年かけてすべての干支が完成する予定。令和六年の干支「辰」は十一作品目となった。



### よさこい縁まつり

出雲大社相模分祠にて、開催されるよさこい祭り。令和五年より、出雲大社相模分祠青年会「teamIZUMO」が主体となり、「よさこい縁まつり」としてリニューアル。毎年踊り子約千人が参加。老若男女すべての世代に踊りを通して、ご縁に感謝!



予告:よさこい縁まつり2024春の神 令和6年4月中旬開催予定

### 先祖供養は祖霊社で

出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結、ただでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。当分祠の傍らに鎮座する祖霊社は、日本人のご先祖様の御霊をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。



### 納骨堂のご利用法

当社の信徒・崇敬者の方ならどなたでもご利用頂けます。実家が仏教でも、新たに神式に改めご利用可能です。納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・ご供養致します。弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、里山自然に還ります。後継者の、のちの管理や不安・問題も解消できます。たくさんの方々の祈りを集める祖霊社で安心の供養ができます。普段よりお参りに来られる神社で、初詣・季節のお参りの折にご一緒にお参りすることできるので安心です。「お問い合わせは出雲大社相模分祠まで。ご予約で相談会を実施。供養や墓じまいなどサポートします。」

### 祖霊社の神事

神葬祭・五十日祭(法要)・一年祭・水子供養・お盆・お彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。ご相談お問合せは出雲大社相模分祠まで(要予約) 神事後の直会(会食も隣接する出雲記念館で出来ます。祖霊社で齋行することも御自宅、霊園への出張祭典も可能です。

### 納骨堂・神道墓地

永代供養料 三十三万円



渋沢丘陵にある神道墓地 永代供養墓